

夜間学校 ニュース

1988年 11月 4日

西成区萩之茶屋2-8-9
旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持！

定住外国人に市民権を！

年の暮れまで

あとなん日…

一 天皇様が死のつと生きよと 年の暮れ 仲間の命を守る越冬ー

ことしもは十一月、も

うすぐ年の暮れ。わり合

に仕事が多いので、多くの

仲間は、さぞせっぱつま

った感じをもっているのだ

ろうとは思わ。

先月の手帳を持って

仲間の中で、もらいきった

その割合は、約一割五分

ほどだったといふ。一時期、

六、七月に仕事のなかつた

時には六割だったといふか

ら、まったくの様変わり、

なるほど釜は働キ人の街と

あたりまえのことながら、

あらためて感心してしまっ

た。

だが、元気なものばかり

ではない。仕事がいくら多

くても、いけない仲間もい

る。

寒くなつて、夏場のよう

にドヤ仕を節約するための

青カンが少なくなつたせい

か、青カンしている仲間の
数が大部減つている。それ

だけに、日々、寒さが強く

なる屋外で青カンを続けざ

るを得ない仲間のことは忘

れらねてはならないと考え

る。

青カンをよぎなくさせて

いる仲間百人に聞いた結果

によれば、その平均年齢は

約五四才、センターなどで

おこなつた調査よりも、五

才も高い結果となつた。

土方稼業も十才から始め

た仲間が多い。

今年も越冬闘争があつた

ゆれることは確実！

仲間の死

本籍不詳、住所自称尼崎

市中食満宇南浦35、氏名自

称高橋三郎、昭和8年5月

3日生52歳位の男、身長67

センチ、左下腿部ヤモリの

入れ墨あり、遺留金5000現金

900円、鍵5個、眼鏡

右の者は、昭和60年4月

20日午後11時ごろ西成区太

子1丁目6番1号地下鉄

物園前中央階段にて発見さ

れたもので、同日午後9時

ごろ（推定）、同所におい

て右大脳半球圧迫のため死

亡したものと思われる。

合尚手！

みんなでつくろう

みんなの 会館

三人よれば 何とかの 知恵

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

前回の報告

最近は

釜釜でも女性か

今年の気候はどうも不順なようです。涼しい夏に続いてこの秋もどうやら冬とそんなに変わりがない有り様です。朝夕はかなり冷え込んでいるのに日中はそこそこ温かくなるという感じですが、いよいよ十一月。今年の冬の訪れは早いようです。

「最近温度差が大きいな。朝起きた時は寒いんでつい厚着するやろ、ところが現場に着いて仕事しだすと、気温が上がるわ、体を動かすんで暑いわで汗をかく、そうするとどうしても風邪をひいてしまう。もう一週間もせきが出て微熱があるんや」

「三日も四日もせき、熱がおさまらるのは風邪とちごうて、マイコプラズマ肺炎いうやつや」
「それは肺炎の一種か」
「普通の肺炎よりは症状はおだやかやし、感染力は弱いからそんなに心配はいらん。菌は肺炎菌とウィルスの間のようなもんや。ちょうど四年にいったん、オリンピックの年に流行るんでオリンピック風邪ともいわれとる」
「それで今流行ってるんか」
「かなり流行ってるらしいけど、格別治療せんでも自然に治るらしい。それ

「予防接種もないしな」
「気がつかんうちにかかっているというところもあるわけやな」
「最近はどうも体の調子がようないし仕事もちょっと行ってないねん」
「釜ヶ崎へ来て十三、四年で年も四十年代後半というのはやっぱり気つけなあかん、危険な年齢やな」
「特に酒をよう飲む人は注意が必要やな、肝臓の病気は現状維持か、死ぬしかないからな」
「今日(二八日)の朝刊にちょっと前の天王寺駅のコインロッカーの中に男の赤ちゃんの死骸が入っていた事件のことが出てたで」
「犯人が捕まったんか」
「詳しい事ははっきりせんけど、夫婦で釜ヶ崎へ来てて旦那が交通事故におうたんやけど、その嫁さんがドヤで双子の赤ちゃんを産んだんや。双子のうち

の一人は既に死んでいたらしいんやけど、せっぱつまって生きてた方も殺してコインロッカーに捨てたというわけらしい、四十らしい」

「ドヤで産んだて、保健所とかには全然届けてなかったんかな」
「やってなかったらしいで」

「釜ヶ崎におったんやったら、一度はどこかですれちがっていることもあつたんやろうにな」
「たしかに最近釜ヶ崎にも女の人が増えてきたような気がするな」
「ここ一年くらい特に、そんな感じやな」

「結局、それだけ世の中が住みにくうなってきたということやな」
「道で車座になって男の人と一緒に酒を飲んでる人もよう見るし、リヤカーをひいてダンボールを集めてる人も多いな」
「ワシも三人はそういうバタヤさんを知ってるで」

「夫婦者もおるしそうでないような人もおるな、それにかなり年をとっている人がおる」
「仕事がなくなくなる年齢になったらバタヤしかないのかもしれない」
「年とった女の人をドヤに泊めてやるといふ姿も見ることもあるけど、あれはやっぱり善意やろな」
「前は交通事故の話やっただけど、こ

の前は心斎橋でバラシをしてた人が二階から落ちて鉄筋が刺さったという労災を見た、刺さったというより先が飛び出していたんでそのまま救急車に乗せられて病院行きや」
「鉄筋のある現場ではたまにはある事故や。出っばってる鉄筋を曲げているところもあるけど、あれをすると鉄筋を運んでいる時にひっかけてまた事故を起こすこともある。安全対策が事故を引き起こすわけや」
「災害は追っかけ、追っかけ、やって来るんやな」
「それにしても天皇もなかなかやな」
「例の自肅ムードで週刊誌に書いてあったけどだいたい一兆円がパーになったららしいで」
「日本の国民総生産が約三〇〇兆円やからだいたい一日分が消えたわけや、これが長引くと大変やな」
「リクルートの方もヤッサモッサのわりにすっきりせんな」
「官沢はつぶれんわけか」
「官沢がつぶれたら、他にも波及するからな、株を貰ってるのは官沢だけと違うからな」
「天皇は死にそうで、大汚職があるのに世の中はなんとなく落ち着いておるように見えるのはなんかな」
「結局、みんな部分化してるから焦点になるのがないんやな」